

溶接学会投稿規定および執筆要領

2022年09月09日改定

本規定の改廃は編集委員会の議を経て理事会の承認を必要とする

【お知らせ】溶接学会論文集論文の翻訳論文を STWJ へ推薦する制度の廃止について

溶接学会では 2003 年 Money 社と協定を締結し、本会論文集掲載の和文論文を翻訳し英文論文として STWJ に溶接学会から推薦を行ってきたが、STWJ の経営が Money 社から TAYLOR & FRANCISE 社に移行したことにともない、推薦制度を廃止した。

目次

1. まえがき.....	3
2. 投稿規定（通則）.....	3
2.1 投稿資格.....	3
2.2 著作権.....	3
2.3 投稿原稿の種類.....	3
2.4 単位.....	3
2.5 キーワード.....	4
2.6 原稿の長さ.....	4
2.7 提出物.....	4
2.8 受付日.....	5
2.9 査読.....	5
2.10 採否.....	5
2.11 原稿の責任.....	5
2.12 別刷.....	5
2.13 原稿の問い合わせ先.....	5
3. 溶接学会誌（略：会誌）（Journal of The Japan Welding Society）.....	6
3.1 発行・内容.....	6
3.2 投稿できる記事の種類.....	6
3.3 原稿の構成.....	6
3.4 著者校正.....	6
4. 溶接学会論文集（略：論文集）（Quarterly Journal of The Japan Welding Society）.....	7
4.1 発行内容.....	7
4.2 使用言語.....	8
4.3 原著について.....	8
4.4 原稿の構成.....	8
4.5 論文提出期日.....	8
4.6 著者校正.....	9
4.7 溶接学会論文集（WEB 発行）掲載料.....	9
4.8 溶接学会論文集（WEB 発行）別刷料.....	9

5. Welding Letters of The Japan Welding Society (略：WL)	10
5.1 発行内容.....	10
5.2 使用言語.....	10
5.3 原著について.....	10
5.4 原稿執筆要領.....	11
5.5 著者校正.....	11
5.6 溶接学会 Welding Letters (WEB 発行) 掲載料.....	11
6. 和文原稿執筆要領.....	11
6.1 一般的注意.....	11
6.2 用字および用語.....	12
6.3 図, 写真, 表.....	13
6.4 脚注.....	13
6.5 参考文献.....	13
6.6 ページ数算定の基準.....	15
7. 英文原稿執筆要領.....	16
7.1 原稿の体裁.....	16
7.2 ページ数算定の基準.....	16
8. 新技術新製品紹介欄投稿規定.....	17
8.1 投稿資格.....	17
8.2 原稿の内容.....	17
8.3 原稿の構成.....	17
8.4 原稿の長さ.....	17
8.5 提出物.....	17
8.6 原稿執筆要領.....	17
8.7 査読.....	18
8.8 採否.....	18
8.9 著者校正.....	18
8.10 掲載料.....	18
8.11 その他.....	18
Instructions for Authors.....	19
1. Introduction for the Authors.....	19
2. Manuscript Guide.....	19
3. Manuscript Guide for the <i>Journal of the JWS</i>	24
4. Manuscript Guide for the <i>Quarterly Journal of the JWS</i>	26
5. Welding Letters of the JWS (WL)	29
6. Author's Guide for English Manuscript Submissions for the <i>Journal of the JWS</i>	31
7. Author's Guide for J-STAGE-Compliant Bibliographic Information	35
8. Contribution rules for new technologies and products	35

1. まえがき

溶接学会（以下、本会という）の発行する定期刊行物の論文およびその資料等の原稿は、この投稿規定および執筆要領によって執筆する。ここに、定期刊行物とは、溶接学会誌、溶接学会論文集、Welding Letters (WL)をいう。なお、上記以外（例えば、全国大会講演概要集など）の原稿執筆もこれに準じる。

2. 投稿規定（通則）

2.1 投稿資格

定期刊行物に投稿するのは、原則として責任者は溶接学会正会員とする。ただし、非会員の場合でも本会が特に認めた原稿執筆者はこの限りでない。

2.2 著作権

- (1) 著作権の帰属：本会が編集発行する定期刊行物（以下本会刊行物という）に掲載された記事・論文等の著作権は本会に帰属する。なお、上記以外（例えば、全国大会講演概要集など）の執筆原稿もこれに準じる。本規定は、既に公刊された本会刊行物についても適用する。
- (2) 著作権の許諾：本会が所有する著作権を利用する場合には、本会の許諾を必要とする。ただし、著作者が自身の用途のために自分の著作物を複製、翻訳、翻案などの形で利用する権利は著作者に帰属する。なお、その利用に際してはその著作物が本会刊行物に掲載されたものであることを明記しなければならない。また、全部、または、かなりの部分を複製の形で他の著作物に利用する場合、あるいは著作者以外の他者に利用させる場合には、原則として事前に本会に文書により許諾を求めなければならない。
- (3) 著作者の責任：本会刊行物に掲載された個々の著作物については当該著作者自身が責任を負うものとし、当該著作物について他の著作権の侵害、名誉毀損、または、その他の紛争が生じ、それによって本会に損害が生じた場合には、本会に対し当該損害を補填するものとする。
- (4) 第三者への利用許諾：第三者から、著作物に関する利用許諾の要請があり、本会が必要と認めた場合は、許諾することができる。
- (5) 電子化・インターネット公開：本会刊行物に掲載された記事・論文などの電子化・インターネット公開に際しても、上記（1）から（4）項に準拠する。

2.3 投稿原稿の種類

本会刊行物には溶接学会誌、溶接学会論文集（通常投稿、Express 投稿、Welding Letters（略：WL））がある。それぞれの投稿規定を参照の上、目的に応じて原稿を投稿しなければならない。投稿規定の細則は3章以下にある。

溶接学会論文集における Express 投稿とは、完成度の高い投稿論文に対して、「原稿受領通知書」の著者への送付日から7日以内に、第1回目の査読結果を著者に通知するものである。Express 投稿は、全国大会での優秀な発表に対して与えられる Express 無料投稿券を用いる場合と、所定の掲載料（通常投稿の約1.5倍）を納める場合がある。

2.4 単位

単位の記法は、SI 単位とする（JIS Z 8203 国際単位系（SI）及びその使い方）。ただし、やむをえず従来単位を用いる必要のある場合は、SI 単位を併記する。

2.5 キーワード

- (1) 原稿には 5～10 語のキーワードを付与する。
- (2) 論文集、Welding Letters には英語、会誌には日本語のキーワードを使用する。
- (3) 査読によって修正・削除・追加などを指示されることがある。

2.6 原稿の長さ

- (1) 溶接学会誌および溶接学会論文集（通常投稿）、Express 投稿への投稿原稿の長さ制限はないが、査読によって修正・削除が指示されることがある。
- (2) 溶接学会論文集（Welding Letters）への投稿原稿の長さは 2～4 頁とする。
- (3) 刊行物に掲載された結果による頁数に応じて、規定の掲載料を納めなければならない。ただし、依頼原稿はこの限りでない。

2.7 提出物

本会刊行物への投稿にあたり提出すべき内容物とその形式は表 2.1 に示すとおりである。

- (1) 溶接学会誌
 - (a) 原稿：原稿（図、表、写真を含む）は、3 章に示す溶接学会誌執筆要領に従った構成で提出しなければならない。
 - (b) 電子情報：電子情報のフォーマットは任意でよい。（提出物は表 2.1 を参照）。
[表紙は本会所定のもの](#) あるいは、それと同じ形式に作成したものを添付する。
- (2) 溶接学会論文集（通常投稿・Express 投稿）
 - (a) 提出物：4 章以下に示す溶接学会論文集執筆要領に従った構成で原稿を作成し、電子査読システム Editorial Manager[®]を用いて投稿すること。
 原稿は、通常投稿・Express 所定テンプレートあるいは、それと同じ形式に作成したものを、①通常投稿・Express 原稿、②投稿者情報の順番に原稿をアップロードし投稿すること（ファイル容量の制限無し）。印刷物は不要。
[論文投稿システム Editorial Manager[®]](#)
[通常投稿・Express テンプレート](#)
[投稿者情報テンプレート](#)
 - (b) 電子情報の形式：論文査読用、組版印刷用ともに編集が可能なファイル形式で作成し、アップロードすること。推奨形式は表 2.1 を参照のこと。

表 2.1 溶接学会誌、溶接学会論文集、Welding Letters への投稿に必要な内容物

提出物		溶接学会誌	溶接学会論文集/Welding Letters
電子情報	内容	表紙、本文、図表説明文、図、表、写真ファイル	論文集 1) 通常投稿・Express テンプレートで作成した原稿 2) 投稿者情報テンプレートで作成したファイル WL 1) WL テンプレートで作成した原稿 2) 投稿者情報テンプレートで作成したファイル
	ファイル形式	1) テキスト情報：任意 (Microsoft Word 推奨) 2) 図表写真の画像情報：EPS, TIFF, JPEG, GIF, PNG, PICT, BitMap 推奨 (グレースケール 600dpi 以上)	論文査読・組版印刷用 1) テキスト情報：任意 (Microsoft Word 推奨) 2) 図表写真の画像情報：EPS, TIFF, JPEG, GIF, PNG, PICT, BitMap のいずれか (600dpi 以上) 3) 投稿者情報：任意 (Microsoft Excel, Word 推奨)
	印刷物	印刷物の提出は不要	印刷物の提出は不要

(3) 溶接学会論文集 (Welding Letters (WL))

- (a) 提出物：5章以下に示す Welding Letters 原稿執筆要領に従った構成で原稿を作成し、電子査読システム Editorial Manager[®]を用いて投稿すること。
原稿は Welding Letters 所定テンプレートを使用して作成し、①Welding Letters 原稿、②投稿者情報の順番に原稿をアップロードし投稿すること（ファイル容量の制限無し）。印刷物は不要。

[論文投稿システム Editorial Manager[®]](#)

[WL テンプレート](#)

[投稿者情報テンプレート](#)

- (b) 電子情報の形式：論文査読用、組版印刷用ともに編集が可能なファイル形式で作成し、アップロードすること。

2.8 受付日

原稿受付日は、原稿が本会に到着した日とする。

2.9 査読

論文原稿は本会の論文査読・審査委員会にて、その他の原稿は編集委員会にて選任された査読委員によって査読される。査読結果によって、修正・削除を要求されることがある。

論文原稿における Express 投稿の場合、1回あたりの査読期間は7日以内である。ただし、土日・祝日、盆・年末年始を除く。

なお、著者修正期間は1ヶ月以内とし、これを超えた修正回答は新たな投稿と見なす。やむを得ない理由によりこれを超過する場合は理由書を添えて、修正期間の延長を申告する。

2.10 採否

原稿の採否は査読委員の答申に基づき、論文については論文査読・審査委員会、その他については編集委員会で決定する。

2.11 原稿の責任

本会刊行物に掲載される記事の内容についての責任は、全て著者が負うものとする。

2.12 別刷

別刷の購入を希望する場合には、希望部数を校正の際に申し込み、その実費は著者が負担する（最小部数50部、50部単位）。

2.13 原稿の問い合わせ先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 6階

一般社団法人溶接学会（論文は）論文査読・審査委員会
（その他は）編集委員会

電話：03-5825-4073 FAX：03-5825-4331

E-mail：jws-ym[at]kt.rim.or.jp ※[at]を@に変更してご送信ください。

3. 溶接学会誌（略：会誌）（Journal of The Japan Welding Society）

3.1 発行・内容

- (1) 会誌は年間8回発行する。
- (2) 会誌の記事は、広く溶接・接合工学、技術および工業に役立つ情報を本会会員に提供するとともに、会員間の意志の疎通および相互の啓発を図ることを目的とする。

3.2 投稿できる記事の種類

- (1) 技術資料：溶接・接合工学・工業に関連する分野で、独創的な研究でなくとも、広く実務的に有益な内容を含む資料。
- (2) 講義、解説、講座：既に確立された工学的手法、技術または基礎的原理、現象について客観的にまとめ、平易に記述または解説した資料。
- (3) 展望：溶接・接合工学、工業およびそれに関連したそれぞれの分野における最近の進歩と傾向、ならびに将来の予想などを広範囲な資料に基づき、公正な立場で記述した資料。
- (4) 会員間の情報伝達、相互交流に関する記事：会告、会報、委員会活動報告、関連学協会活動報告などの情報伝達のための記述。
- (5) 新技術・新製品の紹介（賛助員の欄）：賛助員各社の新技術・新製品の紹介を主とし、会員が技術的関心をもつ内容のもの。これに関する投稿規定および執筆要領は別途定める。
- (6) その他：そのほか編集委員会が適当と認めたもの。

3.3 原稿の構成

- (1) 原稿の構成は以下の通りとする。
 - (a) 表紙：本会所定のもの、あるいは、それと同じ形式に作成したものを添付する。
 - (b) 本文：A4サイズで作成する。
 - (c) 図（写真を含む）、表の説明文：和文とし、一括して本文末尾に添付する。
 - (d) 図、写真、表：十分な解像度を有し、明瞭であること（グレースケール600dpi以上）。
- (2) 図、写真、表に用いる文字は日本語または英語とする。ただし、同一原稿ではどちらかに統一する。

3.4 著者校正

- (1) 初校は著者の責任において行う。著者校正は原則として初校に限る。
- (2) 初校は誤植のみに限り、一切の加筆、減筆は認めない。

表 3.1 溶接学会誌の別刷料

部数	表紙付き 本文 4 頁まで	表紙付き 本文 6 頁まで	表紙付き 本文 8 頁まで	表紙付き 本文 10 頁まで	表紙付き 本文 12 頁まで	以降 2 頁単位
50 部	10,230 円 (本体価格 9,300 円)	14,300 円 (本体価格 13,000 円)	16,500 円 (本体価格 15,000 円)	22,000 円 (本体価格 20,000 円)	25,080 円 (本体価格 22,800 円)	以降 2 頁当り 3,080 円増し (本体価格 2,800 円)
100 部	14,300 円 (本体価格 13,000 円)	16,500 円 (本体価格 15,000 円)	22,000 円 (本体価格 20,000 円)	25,300 円 (本体価格 23,000 円)	28,380 円 (本体価格 25,800 円)	以降 2 頁当り 3,080 円増し (本体価格 2,800 円)
150 部	16,500 円 (本体価格 15,000 円)	22,000 円 (本体価格 20,000 円)	25,300 円 (本体価格 23,000 円)	27,500 円 (本体価格 25,000 円)	30,800 円 (本体価格 28,000 円)	以降 2 頁当り 3,300 円増し (本体価格 3,000 円)
200 部	22,000 円 (本体価格 20,000 円)	25,300 円 (本体価格 23,000 円)	27,500 円 (本体価格 25,000 円)	30,800 円 (本体価格 28,000 円)	34,100 円 (本体価格 31,000 円)	以降 2 頁当り 3,300 円増し (本体価格 3,000 円)
250 部	25,300 円 (本体価格 23,000 円)	27,500 円 (本体価格 25,000 円)	30,800 円 (本体価格 28,000 円)	34,100 円 (本体価格 31,000 円)	37,400 円 (本体価格 34,000 円)	以降 2 頁当り 3,740 円増し (本体価格 3,400 円)
以降 50 部 単位	以降 50 部当り 2,970 円 (本体価格 2,700 円)	以降 50 部当り 3,300 円 (本体価格 3,000 円)	以降 50 部当り 3,300 円 (本体価格 3,000 円)	以降 50 部当り 3,300 円 (本体価格 3,000 円)	以降 50 部当り 3,300 円 (本体価格 3,000 円)	以降 2 頁当り 3,740 円増し (本体価格 3,400 円)

(論文集(WEB 発行)の別刷料金は表 4.2 参照のこと)

(送料および消費税 10%含む)

4. 溶接学会論文集(略:論文集) (Quarterly Journal of The Japan Welding Society)

4.1 発行内容

- (1) 論文集は WEB 発刊(随時アップロード、年 4 号)する。
- (2) 論文は、基礎・基盤分野の論文、および開発・実用分野の論文とする。
 - (a) 基礎・基盤分野の論文の性格は、基礎的、基盤的な研究に関する論文とする。その内容は、当学会の活動分野において価値有るものであり、独創的かつ完成度の高いものでなければならない。
 - (b) 開発・実用分野の論文の性格は、開発的な研究や新規技術分野で萌芽した研究に関する論文とする。その内容は当学会の従来の活動分野および新たに取り込まれた活動分野において開発された技術や芽の出はじめた技術などについて、価値あるものとする。
- (3) 論文集に投稿される論文は、本会主催の学術講演会(全国大会、研究委員会、全国大会シンポジウム・フォーラム基調講演、研究委員会主催シンポジウム、支部講演会、プロシーディング[論文集]を刊行しない国際シンポジウム)で前もって研究発表講演を行ったものであることが望ましい。
- (4) 連続報の論文は認めない。ただし、副題を付け論文の大きなテーマや主題などを示すことができる。

4.2 使用言語

論文に使用する言語は、日本語と英語のいずれかとする。

4.3 原著について

- (1) 投稿原稿は、和文英文を問わず、一般に国内外で公表されている本会以外の刊行物に未投稿のものに限る。
- (2) 投稿前に全共著者の同意を得たものであること。
- (3) 本会に投稿後に、他の刊行物へ投稿することは差し支えない。未投稿の判定は原稿受付日より、受付日が同日または本会より早い場合は「他誌への既投稿」とみなし、原稿は返却する。
- (4) 「他誌への未投稿」の確認は著者が全ての責任を有す。なお、「未投稿の確認」に違反することが本会において確認された場合は、原稿は返却される。また、論文掲載後に確認された場合は、論文無効の処置を行う。

〔例外規定〕

- (a) 既投稿であっても投稿内容が速報的抄録のものは「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (b) 本会の研究委員会において刊行された報告書または資料集に掲載された内容を、刊行後にその著者が投稿する場合は「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (c) 学位審査請求のために提出された論文を公聴会にて発表した後に投稿する場合は、「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (d) 国際溶接学会（IIW）の各種技術委員会への提出論文は「他誌への未投稿」として受け付ける。

4.4 原稿の構成

- (1) 原稿の構成は以下の通りとする。
 - (a) 論文原稿：所定の通常投稿・Express テンプレートを用いて執筆したのものに限る。
なお、溶接学会のシンポジウムや研究委員会などの論文で本投稿規定に従って作成されたものは、それをもって投稿原稿の本文にかえることができる。
 - (b) 英文概要：和文・英文論文を問わず、300語以内の英文概要を添付する。
 - (c) 図（写真）、表の説明文（キャプション）：和文・英文論文を問わず、英文とし、一括して本文末尾に添付する。なお、図は関連する本文の近くにおく。
 - (d) 図、写真、表：十分な解像度を有し、明瞭であること（画像の推奨解像度は刷り上がりサイズで600dpi以上である）。
 - (e) 投稿者情報：投稿者情報は本会所定のもの、あるいは、それと同じ形式に作成したものを添付すること。

[通常投稿・Express テンプレート](#)

[投稿者情報テンプレート](#)

- (2) 図、写真、表に用いる文字は、和文・英文論文を問わず、英語とする。

4.5 論文提出期日

論文は随時受け付ける。

4.6 著者校正

初校は著者の責任において行う。著者校正は原則として初校に限る。初校の誤植のみに限り、一切の加筆、減筆は認めない。

4.7 溶接学会論文集（WEB 発行）掲載料

著者は論文の掲載が決定した後、速やかに下記に定める掲載料を本会に納めなければならない。なお、Express 投稿の著者は、期間内に査読が終了し掲載が決定した後、速やかに表 4.1 に定める Express 投稿の掲載料を本会に納めなければならない。

表 4.1 溶接学会論文集(WEB 発行)掲載料

頁数	掲載料（和文、英文とも）	
	通常投稿	Express 投稿
5 まで	55,000 円 (本体価格 50,000 円)	82,500 円 (本体価格 75,000 円)
6	66,000 円 (本体価格 60,000 円)	99,000 円 (本体価格 90,000 円)
7	82,500 円 (本体価格 75,000 円)	123,750 円 (本体価格 112,500 円)
以降	1 頁毎に 16,500 円 (本体価格 15,000 円) 加算	1 頁毎に 24,750 円 (本体価格 22,500 円) 加算

消費税 10%含む。別刷は含まない（別刷料金は表 4.2 参照のこと）

4.8 溶接学会論文集（WEB 発行）別刷料

投稿論文（和文、英文とも）の別刷料は表 4.2 に定める通りである。

表 4.2 溶接学会論文集(WEB 発行)別刷料

部数	表紙付き 本文 6 頁まで	表紙付き 本文 8 頁まで	表紙付き 本文 10 頁まで	表紙付き 本文 12 頁まで	以降 2 頁単位
50 部	8,250 円 (本体価格 7,500 円)	9,350 円 (本体価格 8,500 円)	10,450 円 (本体価格 9,500 円)	11,550 円 (本体価格 10,500 円)	1,100 円増し (本体価格 1,000 円)
100 部	12,650 円 (本体価格 11,500 円)	14,850 円 (本体価格 13,500 円)	17,050 円 (本体価格 15,500 円)	19,250 円 (本体価格 17,500 円)	2,200 円増し (本体価格 2,000 円)
150 部	17,600 円 (本体価格 16,000 円)	20,900 円 (本体価格 19,000 円)	24,200 円 (本体価格 22,000 円)	27,500 円 (本体価格 25,000 円)	3,300 円増し (本体価格 3,000 円)
200 部	22,550 円 (本体価格 20,500 円)	26,950 円 (本体価格 24,500 円)	31,350 円 (本体価格 28,500 円)	35,750 円 (本体価格 32,500 円)	4,400 円増し (本体価格 4,000 円)
250 部	26,950 円 (本体価格 24,500 円)	32,450 円 (本体価格 29,500 円)	37,950 円 (本体価格 34,500 円)	43,450 円 (本体価格 39,500 円)	5,448 円増し (本体価格 4,953 円)
以降 50 部 単位	4,400 円増し (本体価格 4,000 円)	5,500 円増し (本体価格 5,000 円)	6,600 円増し (本体価格 6,000 円)	7,700 円増し (本体価格 7,000 円)	8,380 円増し (本体価格 7,619 円)

カラー一頁割増 1 頁 1 部あたり 110 円（消費税 10%含む、本体価格 100 円）

（送料および消費税 10%含む）

5. Welding Letters of The Japan Welding Society (略：WL)

5.1 発行内容

- (1) WL は WEB 発刊（年 1 巻，WEB へは随時掲載）とする。
- (2) WL は，基礎・基盤分野，および開発・実用分野で価値のある論文であり，速報性の高いものが望ましい。
 - (a) 基礎・基盤分野の論文の性格は，基礎的，基盤的な研究に関する論文とする。その内容は，当学会の活動分野において価値有るものであり，独創的の高いものでなければならない。
 - (b) 開発・実用分野の論文の性格は，開発的な研究や新規技術分野で萌芽した研究に関する論文とする。その内容は，当学会の従来からの活動分野および新たに取り込まれた活動分野において開発された技術や芽の出はじめた技術などでなければならない。
- (3) WL に投稿される論文は，本会主催の学術講演会（全国大会，研究委員会，全国大会シンポジウム・フォーラム基調講演，研究委員会主催シンポジウム，支部講演会，プロシーディング [論文集] を刊行しない国際シンポジウム）で前もって研究発表講演を行ったものであることが望ましい。
- (4) 連続報の論文は認めない。ただし，副題を付け論文の大きなテーマや主題などを示すことができる。

5.2 使用言語

論文に使用する言語は，英語とする。

5.3 原著について

- (1) 投稿原稿は，一般に国内外で公表されている本会以外の刊行物に未投稿のものに限る。
- (2) 投稿前に全共著者の同意を得たものであること。
- (3) 本会に投稿後に，他の刊行物へ投稿することは差し支えない。未投稿の判定は原稿受付日より，受付日が同日または本会より早い場合は「他誌への既投稿」とみなし，原稿は返却する。
- (4) 「他誌への未投稿」の確認は著者が全ての責任を有す。なお，「未投稿の確認」に違反することが本会において確認された場合は，原稿は返却される。また，論文掲載後に確認された場合は，論文無効の措置を行う。

〔例外規定〕

- (a) 本会の研究委員会において刊行された報告書または資料集に掲載された内容を，刊行後にその著者が投稿する場合は「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (b) 学位審査請求のために提出された論文を公聴会にて発表した後に投稿する場合は，「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (c) 国際溶接学会（IIW）の各種技術委員会への提出論文は「他誌への未投稿」として受け付ける。
- (d) WL への掲載後，その内容をさらに発展させることにより，溶接学会論文集へ投稿することが出来る。その際には，新たに投稿する溶接学会論文集原稿に，既掲載の WL に内容の一部が発表済みであることを明記する。

5.4 原稿執筆要領

- (1) 原稿の構成は以下の通りとする。WL は、提出された原稿をそのままオフセット印刷するため、原稿の作成は必ず下記要領に従うこと。
 - (a) 論文原稿：所定の WL テンプレート（学会ホームページよりダウンロード可）を用いて執筆したものに限る。
 - (b) 投稿者情報：投稿者情報は本会所定のもの、あるいは、それと同じ形式に作成したものを添付すること。
- (2) 概要：200 語以内の概要を記載する。
- (3) 原稿の長さ：2～4 頁。
- (4) 投稿原稿の英語について必ずネイティブチェックを受けること。ネイティブチェックは個人の責任とし、翻訳業者に依頼することが望ましい。

[WL テンプレート](#)

[投稿者情報テンプレート](#)

5.5 著者校正

初校は著者の責任において行う。著者校正は原則として初校に限る。初校の誤植のみに限り、一切の加筆、減筆は認めない。

5.6 溶接学会 Welding Letters (WEB 発行) 掲載料

著者は論文の掲載が決定した後、速やかに下記に定める掲載料を本会に納めなければならない。

表 5.1 溶接学会 Welding Letters (WEB 発行)掲載料

頁 数	2	3	4
掲載料	38,500 円 (本体価格 35,000 円)	44,000 円 (本体価格 40,000 円)	49,500 円 (本体価格 45,000 円)

消費税 10%含む。別刷は含まない
(別刷料金は表 4.2 参照のこと)

6. 和文原稿執筆要領

この執筆要領は和文論文執筆に適用されるものであるが、論文以外の会誌用の和文原稿についても準用する。

6.1 一般的注意

(1) 表題

論文の表題は簡単で内容を明確に表わすものでなければいけない。したがって、非常に一般的な表題は避けるべきである。関連ある幾つかの論文を発表する場合は、各論文ごとにその内容を具体的に示す表題を挙げ、大きい内容を示す同じ表題は副題とする。

(例) 固相接合面近傍における結晶粒挙動の高温観察

-固相接合に関する研究-

なお、副題には、第 1 報、第 2 報、…などの順序を示す番号は入れない。

(2) 著者名, 所属機関名

著者名の英語表記は次の例のように書く。

(例) by TANAKA Ichiro

所属機関名は論文を投稿したときの所属ではなく, 研究を行った所属機関名を書く, 投稿時にそこに属していないときは, 原稿表紙の所属機関名の中に()して現在の所属を書く。

(例) ○○大学工学部 (現在○○○○株式会社)

Faculty of Engineering, ○○University
(Present Address: ○○○○Co., Ltd.)

(3) 英文概要 (300 語以内)

(a) 論文の目的, 方法, 重要な結果などを簡潔明確に表すようにする。本文を参照しなくても, それだけで理解できるように書くべきで, 表, 図, 式などを本文中の番号で引用してはならない。

(b) 概要は論文を第三人称で書いた要旨であるから, 一人称の代名詞は用いず, 著者の立場を強調したり, 著者の主観的評価 (It is very interesting that……など) は書くべきでない。

(4) キーワード

英文概要の後に 5~10 語の英語のキーワードをつける。

(5) 本文

(a) 論文内容は緒言, 実験方法, 実験結果, 考察, 結論, 謝辞, 参考文献の順序で書くのが望ましい。内容によって別の章 (理論, 付録など) を設けてもよい。記述は簡潔で分かりやすくする。

(b) 大きい見出しは 1, 2, 3,……のようにし, 小さい見出しは 1.1, 1.2, 1.3……および 1.1.1, 1.1.2……のようにする。

(c) 緒言は研究の目的, 従来の研究との関連, 研究の概要を述べる。結論で述べることを強調したりすることや, 英文概要と重複しないように注意すること。

(d) 主部 (実験方法から考察まで) は論旨の筋道が明確か, 強調したい点があはつきり読みとれるかなどに注意する必要がある。

(e) 結論は論文のまとめであって, できるだけ明瞭にかつ簡潔に得られた結果を述べる。

(f) 図, 写真, 表, 脚注, 参考文献の書き方は, 6.3, 6.4, 6.5 を参照のこと。

6.2 用字および用語

(1) 文体

文章は口語体とし, 常用漢字, 新仮名使いによる漢字混じりの平仮名書きを原則とする。なお, 外来語は片仮名書きとする。

(2) 欧文字

外国の人名, 書籍などの固有名詞は欧文書きとするが, 一般化されている外国語はすべて片仮名書きとする。

(3) 用語

本会編「溶接学会用語事典」, 「溶接・接合用語集」および JIS による。

(4) 数字

数を表すものはアラビア数字を用い、言葉になっているもの、または、名称として制定されているものは漢字を使用する。

(例)	可	不可
	一つ二つ	1つ2つ
	一、二の例	1, 2の例
	一例を挙げる	1例を挙げる
	数百例	数100例

(5) 年度

本年、昨年などは使わない。すべて西暦表記(20〇〇年)とする。

(6) 数式

文中では a/b , ab^{-1} , $x/(x+t/2)$ などのように1行とする。2行になる場合は別行にする。

(7) 量記号および単位記号

SI 単位を原則として用いる (JIS Z 8203)。ただし、やむをえず従来単位を用いる必要のある場合、SI 単位を併記する。

6.3 図、写真、表

- (1) 図、写真、表はなるべく少なくし、同一事項を図、表の両方で表わすことは避ける。
- (2) 図(写真も含める)および表は、それぞれに Fig. 1, Fig. 2..., Table 1, Table 2, ……と通し番号を付ける。Photo.○は用いず、Fig.○に統一する。ただし、会誌の場合は Fig.または Table の代わりに図または表とする(図○, 表○)。
- (3) 図(写真)、表の説明文(キャプション)は一括して本文末尾に付ける。論文の場合には、図、写真、表中の文字および説明文は英語とする。会誌の場合には、図、写真、表中の文字は日本語、または、英語のいずれでもよいが、同一原稿内ではどちらかに統一すること、また、会誌の図(写真)、表の説明文は日本語とする。
- (4) 図、写真は十分な解像度を有し、明瞭であること。(画像の推奨解像度は刷り上がりサイズで600dpi以上である)。
- (5) 図、表および写真とも縮尺しても明瞭になるよう文字や線の太さに注意する。刷り上がりの大きさ(横幅)は170mm(頁サイズ)、80mm(コラムサイズ)が標準であるので、原図は原寸大、もしくは刷り上がりの2倍あるいは3倍大に書くこと。拡大した原図とした場合、文字の大きさは刷り上がり標準2.5mmになるように考慮すること。実際に刷り上がり時の大きさに縮尺してみて、文字大きさなどが適当であるかを確認することが望ましい。なお、画像の推奨解像度は刷り上がりサイズで600dpi以上である。

6.4 脚注

脚注は文中右肩に小さく*)、**)、***)のように記し、その頁の下段に記載する。

6.5 参考文献

学術雑誌や会議のプロシーディング、書籍等の各種文献を引用する場合は、右肩に小さく¹⁾のように記し、出典は本文の終わりにまとめて記載する。

引用する場合は原則として、オリジナル文献の表記に従い、略称は使用せず、すべて正式名称(フ

ルネーム)で記述する。なお溶接学会論文集においては、全て英文表記とする。ただし、出典名が英文での記載がない場合は、日本語表記とする。文献の言語が英語以外の場合は、その言語を末尾に記載する(例えば、文献が日本語の場合は、末尾に(in Japanese)と記載)。また、DOIを持つ文献には、末尾にDOIのURLを記載する。記載例は以下の通り。

なお、引用した図、表、写真などは、必要な場合には著者が著作権所有者の許可を得るものとする。溶接学会論文集においては、参考文献数は原則20件以上とする。参考文献数が少ない場合、査読者へ回す前に差し戻すことがある。

【記載例】

◆学術雑誌

著者名、題名、誌名、巻・号、発行年、通し頁(文献番号の場合は文献番号)、DOIのURLの順に記載する。

1) K. Kadoi, K. Shinozaki: Effect of Chemical Composition on Susceptibility to Weld Solidification Cracking in Austenitic Weld Metal, Metallurgical and Materials Transactions A, 48 (2017), 5860-5869, <https://doi.org/10.1007/s11661-017-4340-2>.

2) K. Shinozaki, Y. Nakao and H. Kuroki: Bonding Phenomena and Mechanical Properties of TLP-bonded Joint of Fe-base ODS Alloy, Quarterly Journal of The Japan Welding Society, 14-1 (1996), 129-136, <https://doi.org/10.2207/qjwsw.14.129>. (in Japanese)

◆会議等の資料

著者名、題名、会議名、発行年、通し頁、DOIのURL(DOIがない場合はDOIに代わるURLがあれば記載する)の順に記載する。

・国際会議プロシーディング

T. Miyamori, Y. S. Sato, H. Kokawa: Underwater friction stir welding of medium carbon steel, Proceeding of 10th International Conference on Trends in Welding Research, (2016), 465-468.

・国内学会概要

M. Ohata, F. Tagaki, J. Takahashi, F. Minami, T. Sadasue, S. Igi, R. Ikeda: Fracture Toughness Testing of Resistance Spot Welds for High Strength Steel, Preprints of the National Meeting of JWS, 99 (2016), 4-5, https://doi.org/10.14920/jwstaikai.2016f.0_4. (in Japanese)

・研究委員会資料

H. Yamamoto, Y. Imagawa, K. Ito: Investigation of WC-tool-component solution mechanism arose in a steel surface layer during friction stir processing, 74th IIW Annual Assembly, (2021), Doc. No. IX-2735-2021.

◆書籍

著者名(編集者名)、書名、出版社名、出版社の所在地、出版年、引用頁の順に記載する。

・書籍

S. Kou: Welding Metallurgy, John Wiley & Sons, New Jersey, (2003), 264-265.

・データブック等の編集書籍

英語書籍: E.A. Brandes, G.B. Brook (Eds.): Smithells Metals Reference Book, Seventh edition, Butterworth-Heinemann, Oxford, (1998), 6.3-6.6.

日本語書籍:

(溶接学会論文集の場合) The Japan Institute of Metals and Materials: 金属データブック,

Maruzen, Tokyo, (2004), 81-84.

(溶接学会誌の場合) 日本金属学会編：金属データブック，丸善，東京，(2004)，81-84.

・溶接学会関連資料

(溶接学会論文集の場合)：Japan Welding Society The Technical Commission of Welding Metallurgy Eds.: JWS Bulletin No. 16 溶接冶金現象のシミュレーションと可視化, Japan Welding Society, Tokyo, (2016), 388-392.

(溶接学会誌の場合)：溶接学会溶接冶金研究委員会編，溶接学会技術資料 No. 16 溶接冶金現象のシミュレーションと可視化，溶接学会，東京，(2016)，388-392.

◆学位論文

著者名，学位論文の種類，大学名，学位授与年，頁数の順で記載する。

H. Yamamoto: Ph.D. thesis, Osaka University, (2019).

◆規格

規格番号：制定年，規格標題の順で記載する。

- ・ JIS Z 2241: 2011, Metallic materials - Tensile testing - Method of test at room temperature.
- ・ ISO 6892-1: 2009, Metallic materials - Tensile testing -Part 1: Method of test at room temperature.
- ・ WES 1109: 2021, Standard CTOD test method in welded joints.
- ・ AWS B4.0: 2016, Standard Methods for Mechanical Testing of Welds.

◆Web サイト

出版物などがない，もしくは入手困難である場合，公的機関のホームページなど掲載継続性と信頼性が高いと判断される場合に限り Web サイトの引用を認める。

Web サイトの題名，Web サイト提供元（報告書の名称など），URL，アクセス日の順で記載する。

- ・ Innovative Structural Materials Association (ISMA): Development of Multi-material Technology,
<https://isma.jp/multimaterial/>, (accessed 2022-01-17).

6.6 ページ数算定の基準

(1) 本文

刷り上がり 1 頁の字数は論文集では 26 字×54 行×2 段=2808 字，学会誌では 26 字×54 行×2 段=2800 字。

(2) 図，写真……刷り上り天地 10cm をもって本文の 21 行に数える。

(3) 数式……次の割合で換算する。

$$(イ) \quad id = 605nD^{\frac{1}{2}}cm^{\frac{2}{3}}t^{\frac{1}{6}} \quad \dots\dots\dots (1 \text{ 行})$$

$$(ロ) \quad E = Ea^0 \frac{RT}{PF} \ln \frac{a_0}{a} \quad \dots\dots\dots (2 \text{ 行})$$

$$(ハ) \quad Q_n(x) = (-1)^{\frac{1}{2}} \frac{Z_n\{r(\frac{n}{2}+1)\} \times g_n(x)}{r(n+1)} \quad \dots\dots\dots (3 \text{ 行})$$

$$(ニ) \quad \cos \alpha = \frac{\frac{dx}{du}}{(\frac{dx}{du})^2 + (\frac{dy}{du})^2 + (\frac{dz}{du})^2} \quad \dots\dots\dots (4 \text{ 行})$$

7. 英文原稿執筆要領

この執筆要領は英文論文執筆に適用されるものであるが、論文以外の会誌用の英文原稿についても準用する。なお、原稿執筆に関する一般的注意、図・写真・表などの要領は和文（論文集、会誌）の執筆要領とほぼ同じであるので、6.1、6.2 および 6.3 項を必ず参照すること。

7.1 原稿の体裁

(1) 用紙

A4 サイズで作成する。

(2) 表題、著者、概要、キーワード

表題、著者名および所属、概要、キーワードは第 1 頁に書く。

(a) 表題は簡潔に表し、第 1 頁の上段 3 行目から書く。表題は名詞、形容詞、副詞、動詞、代名詞の最初の文字を大文字で書き、他は小文字で書く。

(b) 著者名は次の例のように書く。

(例) by TANAKA Ichiro

また、勤務先および所在地は著者の右肩に*)を付し、第 1 頁の最下段に書く。

(c) 概要は 300 語以内に書く。

(d) 5~10 語のキーワードを概要の後につける。

(3) 本文

(a) 形式

本文は 1 頁 60 字×24 行とし、第 2 頁から始める。

(b) 単位

SI 単位を原則として用いる (JIS Z 8203)。ただし、やむをえず従来単位を用いる必要がある場合は、SI 単位に併記する。

(c) 脚注

脚注は本文中に*), **)もしくは a), b)と表示し説明は別紙にまとめて書く。

(d) 引用文献は本文中に 1), 2), ……と表示し、出典は本文の終わりにまとめて記載する。書き方は次のとおり。

雑誌の場合 著者名、題目、誌名、巻号 (年)、頁の順

単行本の場合 著者名、書名、発行所名、発行年、引用頁の順

日本語文献引用の場合は末尾に (in Japanese) と記す。

(e) 図、写真の説明は番号順に別紙にまとめて書く。

7.2 ページ数算定の基準

(1) 本文

刷り上り 1 頁の標準語数は 890 語、A4 ダブルスペース (24 行) の原稿は 1 頁約 288 語。

(2) 表、図、写真および数式

表……行数はすべて本文と同じく数える。

図、写真……刷り上り天地 10cm をもって本文の 21 行に数える。

数式……次の割合で換算する。

$$(イ) \quad id = 605nD^{\frac{1}{2}}cm^{\frac{2}{3}}t^{\frac{1}{6}} \quad \dots\dots\dots (1行)$$

$$(ロ) \quad E = Ea^0 \frac{RT}{PF} \ln \frac{a_0}{a} \quad \dots\dots\dots (2行)$$

$$(ハ) \quad Q_n(x) = (-1)^{\frac{1}{2}} \frac{Z_n\{r(\frac{n}{2}+1)\} \times g_n(x)}{r(n+1)} \quad \dots\dots\dots (3行)$$

$$(ニ) \quad \cos\alpha = \frac{\frac{dz}{du}}{(\frac{dz}{du})^2 + (\frac{dy}{du})^2 + (\frac{dx}{du})^2} \quad \dots\dots\dots (4行)$$

8. 新技術新製品紹介欄投稿規定

溶接学会誌（以下会誌という）に新技術・新製品紹介記事（以下記事という）を投稿する場合はこの投稿規定に従わなければならない。

8.1 投稿資格

記事の投稿者は賛助員に限る。

8.2 原稿の内容

記事は溶接技術に関連する比較的最近開発された技術・製品の技術的原理や特色を中心に記述し、技術的情報を客観的に提供できる内容を有しなければならない。

8.3 原稿の構成

(1) 表紙および表題 (2) 本文 から成る。

8.4 原稿の長さ

- (1) 記事は刷り上がり原則 2 頁以内とする。
- (2) 頁数は著者の予定でなく、印刷された結果によって編集委員会が判定するものとする。

8.5 提出物

- (1) 原稿：原稿（図，表，写真を含む）は，3 章に示す溶接学会誌執筆要領に従った構成で提出しなければならない。
- (2) 電子情報：電子情報のフォーマットは任意でよい。（提出物は表 2.1 を参照）
[表紙は本会所定のもの](#) あるいは、それと同じ形式に作成したものを添付する。
- (3) 原稿提出先：

一般社団法人溶接学会事務局

電話：03-5825-4073

E-mail：jws-ym [at] kt.rim.or.jp ※ [at] を @ に変更してご送信ください。

8.6 原稿執筆要領

- (1) 原稿は A4 サイズで作成する。
- (2) 原稿は刷り上がり 1 頁 2,808 字，標題以外すべて 9 ポイント活字を基準として使用するものとする。ただし標題の部分と図，表，写真が添付されるときは，その分字数は減少する。
- (3) 原稿は原則として日本語とする。また，文章は口語体により記述すること。

- (4) 頁数の超過をしてはならないので、執筆に際しては十分に注意すること（頁数の算定基準は 6.6 参照のこと）。
- (5) 簡潔な標題（適切なキャッチフレーズ）を付けること。
- (6) 図、写真および表は十分な解像度を有し、明瞭であること（グレースケール 600dpi 以上）、カラー写真、色刷りの図面等は使用できないので注意すること。
- (7) 記事頭初に詳細問い合わせ先として著者賛助員名、担当部課名、所在地、電話番号を記入すること。

注：ここに記載されない事項については 6 章の執筆要領に従うこと。

8.7 査読

原稿は編集委員会によって査読され、査読結果によって修正削除が要求されることがある。

8.8 採否

原稿の採否は査読報告に基づき編集委員会で決定する。

8.9 著者校正

初校は著者の責任において行う。著者校正は原則として初校に限る。校正は誤植のみに限り、一切の加筆、減筆は認めない。

8.10 掲載料

記事が会誌に掲載されることが決定した後、速やかに規定の掲載料を納めなければならない。

表 8.1 溶接学会誌新技術新製品紹介欄掲載料

1 頁あたり
38,500 円 (本体価格 35,000 円)

消費税 10%含む

8.11 その他

- (1) 掲載された記事の内容についての責任は著者が負うものとする。
- (2) 著作権は本会に属するものとする。
- (3) 別刷は 100 部まで無料とする。それ以上購入を希望する場合は投稿の際に申し込み、その実費は著者が負担する。

Instructions for Authors

Table of Contents

1. Introduction for the Authors
2. Manuscript Guide
3. Manuscript Guide for the Journal of the JWS
4. Manuscript Guide for the Quarterly Journal of the JWS
5. Welding Letters of the JWS (WL)
6. Author's Guide for English Manuscript Submissions for the Journal of the JWS
7. Author's Guide for J-STAGE-Compliant Bibliographic Information
8. Contribution rules for new technologies and products

1. Introduction for the Authors

Paper manuscripts and documentary literature in periodical publications issued by the Japan Welding Society (hereinafter referred to as the JWS) shall be written in accordance with Section 2, "Manuscript Guide," and Section 6, "Author's Guide for English Manuscripts." The periodical publications indicated are the Journal of the JWS, the Quarterly Journal of the JWS, and Welding Letters (WL). Manuscripts in publications related to the JWS other than these three (Preprints of the National Meeting of JWS, etc.) shall also follow these guidelines.

2. Manuscript Guide

2.1 Qualification for Submission

The corresponding author should be a member of the JWS. However, in exceptional cases, non-member authors who are permitted by the JWS may submit papers.

2.2 Copyright

- (1) Attribution of copyright: The copyright of articles, papers, etc., published in periodicals edited by the JWS (hereinafter referred to as "JWS publications") belongs to the JWS. Manuscripts in publications related to the JWS other than the JWS publications (Preprints of the National Meeting of JWS, etc.) shall also follow this provision. It also applies to articles, etc. that have already been published by the JWS.
- (2) Copyright permission: Permission from the JWS is required for use of materials with copyright owned by the JWS. However, the author's right to use content of the copyrighted work in the form of copying, translation, adaptation, etc., for his/her own use belongs to the author. In using such content, the author must clearly state that the work was published in the JWS publication.

In addition, if an author wishes to duplicate all or large portions of materials in his/her literary work for use by persons other than the authors in publication related

to their work, the author is requested to obtain written permission from the JWS for in advance.

- (3) Authors' responsibility: The authors are responsible for the individual work submitted to the JWS publications. If a published article causes damage to the JWS, such as copyright infringement, defamation, or dispute, the authors will be liable to compensate the JWS for the damages.
- (4) License for use by third parties: Requests from a third party for use of copyrighted materials, may be granted upon acceptance by the JWS.
- (5) Digitization/Internet publication: Compliance with items (1) to (4), above, also applies in the case of digitization/Internet publication of articles or papers that are published in the JWS publications.

2.3 Types of articles

The *Journal of the JWS* and *Quarterly Journal of the JWS* (regular publishing, Express publishing, *Welding Letters* of the JWS (Hereinafter, "*Welding Letters*"; abbreviation: WL)) are among the JWS publications. Manuscripts must be submitted in accordance with the manuscript guideline of the respective journal. Detailed rules of publishing content are described in Section 3 and later. In case of Express publishing in the *Quarterly Journal of the JWS*, the results of review will be sent to the authors within 14 days from the date of "original receipt notice." Express publishing charges are either by "free Express publishing ticket," given to excellent presentations selected at the national meetings of the JWS, or by express publication fee (about 1.5 times the regular publishing fee).

2.4 Units

Units shall be presented in SI notation (JIS Z 8203). However, when it is necessary to use other units, SI units should also be included.

2.5 Keywords

- (1) Provision of 5 to 10 keywords is required for the manuscript.
- (2) The *Quarterly Journal of the JWS* and *Welding Letters* use English keywords. The *Journal of the JWS* uses Japanese keywords.
- (3) Amendment, deletion, addition, etc., may be instructed by the peer reviewers.

2.6 Length of Manuscripts

- (1) There is no length restriction for manuscripts for the *Journal of the JWS*, *Quarterly Journal of the JWS* (Regular publishing) or for Express publishing, but revision might be requested, such as modification/deletion/addition.
- (2) Manuscripts submitted to *Welding Letters* should be 2-4 pages in length.
- (3) The publication fee is calculated according to the number of pages in the published article. However, the invited articles are published at no cost to the author.

2.7 Submissions and copies

The materials to be submitted for publication by the JWS, including the format and number of copies, are shown in Table 2.1.

(1) Journal of the JWS

Printed materials: The manuscript, including captions, figures, tables, and images should be prepared according to the styles described in Section 3, "Manuscript Guide for the *Journal of the JWS*."

Electronic materials: Materials should be submitted in electronic format in addition to the printed materials. The formats of the electronic materials are not restricted. However, distinction between Windows/Macintosh, etc., and the name of the software should be specified (see Table 2.1 for the submission media).

A cover page in a Japanese format predetermined by the JWS (<https://jweld.jp/wp-content/uploads/2022/05/journal-hyoushi.docx>) should be attached when submitting both the printed and electronic materials. This is not a part of the manuscript and not subject to review for publication, but accompanies the manuscript for administrative purposes. The cover page content consists of research field, manuscript title, authors and their affiliations, keywords, estimated numbers of printed pages, and contact information of the corresponding author. This shall be also followed by the cover page of the *Quarterly Journal of the JWS* and the WL. Short title, numbers of figures and tables, and etc. are requested as additional information.

(2) Quarterly Journal of the JWS(Regular Publishing· Express Publishing)

(a) Materials for submission

Since an electronic peer-review system is used, electronic manuscript materials (abstract, main text, captions, figures, tables, and images) must be compiled into a single file having a filename as specified in Section (4), below. The format of the electronic material should follow the guideline of the *Quarterly Journal of the JWS*, also in Section 4. The file should be in pdf format, and the file size should not exceed 1.4 MB. Files are to be submitted via the manuscript submission system (via member's MyPage): <http://member.jweld.jp/mypage/>

A cover page for the uploaded manuscript is automatically created at the time of Web submission.

(b) Materials submitted after the article is accepted

Printed materials: Submit one printed manuscript (including the cover page, captions, figures, tables, images, and bibliographic information) following the guidelines for *Quarterly Journal of the JWS* in Section 4 and below.

Electronic materials: Submit electronic materials (for typographical printing) in addition to printed manuscripts. The acceptable formats for electronic materials are provided in Section 4 and Table 2.1. Refer to Table 2.1 for suitable media. Please specify the OS (Windows/Macintosh etc.) and the name of the software used.

(3) Welding Letters (WL)

(a) Materials for submission

Since an electronic peer review system is used, electronic manuscript materials (prepared using the *Welding Letters* template) must be compiled into a single file having a filename as specified in Section (4), below. The format of the electronic materials should follow the guideline of Section 4 and Table 2.1. The file should be in pdf format, and the file size should not exceed 1.4 MB. Files are to be submitted via the manuscript submission system. A cover page for the uploaded manuscript is automatically created at the time of web submission.

WL paper submission system: <https://www.editorialmanager.com/qj-jws/default.aspx>

WL Template: <https://iweld.ip/wp-content/uploads/2022/05/welding-letters-template.docx>

(b) Materials submitted after the article is accepted

Printed materials: Submit a copy of the manuscript (including the cover page, manuscript prepared using the *Welding Letters* template, bibliographic information in accordance with J-STAGE) that is compiled in accordance with the *Welding Letters* manuscript writing procedure described in Section 5.4, "Style Guidelines," and the English manuscript writing style guidelines described in Section 7, and using the provided template (downloadable from the JWS HP).

Electronic materials: Submit electronic materials (for typographical printing) in addition to printed manuscripts. The formats for electronic information are specified in Section 4 and below. Refer to the table below for suitable media. Please specify the OS (Windows/Macintosh, etc.) and the name of the software used.

Table 2.1 Preparation of materials for submission to *Journal of the JWS*, *Quarterly Journal of the JWS*, and *Welding Letters*.

Submission		Journal of the JWS	Quarterly Journal of The JWS / WL	
Printed manuscript	Contents	Cover page, body text legends of figures & photographs, and captions of tables; figures, tables, photographs, images	English outline, body text, legends of figures & photographs, and captions of tables; figures, tables, photographs, and J-STAGE-compliant bibliographic information	
	Copies to be submitted	One copy	One copy (after the acceptance)	
Electronic materials	Contents	Cover page, body text, legends of figures & photographs, and captions of tables; figures, tables, photographs, images	Cover page, body text, legends of figures & photographs, and captions of tables; figures, tables, photographs, and J-STAGE-compliant bibliographic information	
	Format	1) Body text: Any Microsoft Word, Adobe PageMaker are recommended) 2) Figures and photographs: Any EPS, TIFF, JPEG, GIF, PNG, PICT, BitMap are recommended) See below for file-naming specifications*	For peer review	Manuscript (Cover page, body text, legends of figures & photographs, and captions of tables; figures, tables, photographs, and J-STAGE-compliant bibliographic information) must be combined into a single file in PDF format. ※Only alphanumeric characters are permitted in the file name at the time of web submission.
			For typographical printing	1) Body text: Any (Microsoft Word, Adobe PageMaker are recommended) 2) Figures and photographs: Any (EPS, TIFF, JPEG, GIF, PNG, PICT, BitMap)

(4) *Naming specifications for the original manuscript file (for typographical printing)

The file is to be named according to Table 2.2. For the medium to be submitted, please attach a label describing the title, contributor's names, affiliations, and software used (including version).

Table 2.2 File naming rules.

	Quarterly Journal of JWS (for typography printing) / Journal of the JWS.
Text/text	Body text: "text.*" English outline: "abstract.*" Legends of figures & photographs, and captions of tables: "caption.*"
Figures and tables (original images) [For each drawing number and table number]	Figures: "fig-1.*", "fig-2.*", Table: "table-1.*", "table-2.*", Branch number: "fig-2a.*", "table-2b.*",
J-STAGE compliant bibliographic information	jstage.txt" (text file) [Not required in the Journal of the Japan Welding Society]

* Indicates the file format or the extension of the software used.

For the original image file, it is not necessary to save the file in the unique format of the used software (binary file).

2.8 Submission date

The manuscript submission date shall be the date on which the manuscript has arrived at the JWS.

2.9 Paper review

Articles submitted to the *Quarterly Journal of the JWS* and *Welding Letters* are reviewed by the peer review/review committee of JWS, and those submitted to the *Journal of the JWS* are reviewed by editorial board appointed by the editorial committee. Depending on the review results, correction/ deletion may be required.

In the case of Express submission, the total time required for peer review (including multiple peer reviews) is within 14 days from the date of "manuscript receipt notice" until the decision of the acceptance, not including weekends, national holidays and the Japanese "Obon" and New Year holidays and the period of the author correction.

2.10 Acceptance or rejection

Whether the manuscript is accepted or rejected is based on the report of the review committee. Articles submitted to the *Quarterly Journal of the JWS* and *Welding Letters* will be examined by the peer review/review committee of the JWS, and those submitted to the *Journal of the JWS* will be examined by the editorial board.

2.11 Responsibility of manuscript

All responsibilities for the content of the articles to be posted in the Society publication shall be borne by the author.

2.12 Reprints

If you wish to purchase a separate reprint, please apply the number of copies desired at the time of submission, . The actual cost will be borne by the author (50 copies minimum, 50 copies/unit).

2.13 Submission of manuscripts

Manuscripts shall be submitted to:

Japan Welding Society

Paper review/review committee (*Quarterly Journal of the JWS*)

Editing Committee (*Journal of the JWS*)

6th floor, 4-20 Kanda Sakuma-cho

Chiyoda-ku, Tokyo 101-0025

Phone: 03-5825-4073 (+81-3-5825-4073)

FAX: 03-5825-4331 (+81-3-5825-4331)

E-mail: jws-ym lat|kt.rim.or.jp

3. Manuscript Guide for the *Journal of the JWS*

3.1 Introduction for the authors

- (1) The journal is issued eight times a year.
- (2) The articles of the journal are intended to provide members of the Society with information that is useful for welding/joining engineering, technology, and industry. The journal also aims at enhancing understanding among members and increasing mutual awareness.

3.2 Types of Manuscripts

- (1) Technical Data: In fields related to the welding/joining engineering/industry, materials that contain widely practical and useful contents, even if they are not original research.
- (2) Lecture, Commentary, Courses: Materials that have been described and summarized objectively regarding already established engineering methods, techniques, fundamental principles, or phenomena.
- (3) Perspective: Materials describing on the basis of extensive research, recent advances and trends in welding and joining engineering industries and related fields.
- (4) Communications among members or mutual exchange: Descriptions of information transmission such as lectures, bulletins, committee activity reports, and related academic society activity reports.

- (5) Introduction of new technologies and new products (column for support companies):
Mainly introduction of new technologies/new products by support companies. Contents of the column should attract the interest of the JWS members. The manuscript guidelines and the writing procedures are specified in Section 8.
- (6) Others: Other articles that the Editorial Committee considers appropriate.

3.3 Composition of the manuscript

- (1) The general manuscript composition shall be as follows:
- (a) Cover page: A predetermined Japanese format of the JWS (<https://jweld.jp/wp-content/uploads/2022/05/journal-hyoushi.docx>) can be downloaded, or an English title page with the same style as the Japanese format can be created. This should be attached when submitting the manuscript.
 - (b) Body Text: The size of electronic and printed manuscripts shall exclusively be A4.
 - (c) Legends of figures (including photographs), and captions of tables: Legends of figures and captions of tables shall be written in Japanese, and described in a list at the end of the manuscript.
 - (d) Tables: Tables should be clearly legible.
 - (e) Figures: Figures should be clearly legible, with sufficient resolution. The scale should be represented.
 - (f) Photographs: Photographs are to be clearly understandable, with sufficient resolution. The scale should be represented.
- (2) The language to be used in figures, images, and tables should be either Japanese or English. However, only one of these languages should be uniformly used throughout the manuscript. Either British or American style is acceptable, but the styles should not be mixed.

3.4 Author proofreading

- (1) The corresponding author may perform proofreading only once with his/her responsibility.
- (2) The proofreading is limited to correction of typographical errors. No additions nor deletion are allowed.

Reprint fees for the *Journal of the JWS*

(The reprint fees for the WEB issues are described separately; reprint fees are presented with and without the consumption tax.) Reprints are always provided with a paper cover.

Table 3.1 Reprint fees of the *Journal of the JWS*.

Copies	Up to 4 pages of text	Up to 6 pages of text	Up to 8 pages of text	Up to 10 pages of text	Up to 12 pages of text	Over 12 pages: Fee per 2 pages
50	¥10,230 (Without tax, ¥9,300)	¥14,300 (Without tax, ¥13,000)	¥16,500 (Without tax, ¥15,000)	¥22,000 (Without tax, ¥20,000)	¥25,080 (Without tax, ¥22,800)	¥3,080 per 2 pages (Without tax, ¥2,800)
100	¥14,300 (Without tax, ¥13,000)	¥16,500 (Without tax, ¥15,000)	¥22,000 (Without tax, ¥20,000)	¥25,300 (Without tax, ¥23,000)	¥28,380 (Without tax, ¥25,800)	¥3,080 per 2 pages (Without tax, ¥2,800)
150	¥16,500 (Without tax, ¥15,000)	¥22,000 (Without tax, ¥20,000)	¥25,300 (Without tax, ¥23,000)	¥27,500 (Without tax, ¥25,000)	¥30,800 (Without tax, ¥28,000)	¥3,300 per 2 pages (Without tax, ¥3,000)
200	¥22,000 (Without tax, ¥20,000)	¥25,300 (Without tax, ¥23,000)	¥27,500 (Without tax, ¥25,000)	¥30,800 (Without tax, ¥28,000)	¥34,100 (Without tax, ¥31,000)	¥3,300 per 2 pages (Without tax, ¥3,000)
250	¥25,300 (Without tax, ¥23,000)	¥27,500 (Without tax, ¥25,000)	¥30,800 (Without tax, ¥28,000)	¥34,100 (Without tax, ¥31,000)	¥37,400 (Without tax, ¥34,000)	¥3,740 per 2 pages (Without tax, ¥3,400)
After 50 pages units	¥2,970 per 50 parts	¥3,300 per 50 parts	¥3,300 per 50 parts	¥3,300 per 50 parts	¥3,300 per 50 parts	¥3,740 per 2 pages (Without tax, ¥3,400)

(Shipping fee included)

4. Manuscript Guide for the *Quarterly Journal of the JWS*

4.1 Introduction for the authors

- (1) The *Quarterly Journal of the JWS* is published on the WWW (uploaded non-regularly, 4 issues per year).
- (2) Manuscripts on basic/fundamental research as well as developmental/applied research are published in this journal.
 - (a) "Basic/fundamental manuscripts" should pertain to basic/fundamental research. The content should be relevant to the research fields of the *JWS*, and should be of sufficient originality and completeness.
 - (b) "Developmental/applied manuscripts" should pertain to research on developmental and/or novel, emerging technologies. The contents should be relevant to the conventional as well as new research fields of the *JWS*, and should be of sufficient novelty.
- (3) It is desirable that the papers submitted to the *Quarterly Journal of the JWS* have been presented in advance at academic meetings sponsored by the *JWS* (National meetings, Research Committee meetings, National meeting symposia·forum keynote lectures, aymposia hosted by the Research Committee, local group lectures, international symposia that do not publish proceedings).

- (4) We do not accept series of manuscripts having the same title. However, titles can have the same general subject and different sub-titles.

4.2 Languages used

The language used in manuscripts for the Journal shall be either Japanese or English. However, only one of these languages should be uniformly used throughout the manuscript. Either British or American style is acceptable, but the styles should not be mixed.

4.3 Original papers

- (1) Submitted manuscripts are limited to those that have not been published in journals other than those of the JWS, regardless of whether in Japanese or English.
- (2) It is acceptable for a work submitted to the Journal to be submitted to other journals afterwards, but not before. The submission date is judged by the date of receipt. If the date of receipt is the same or later than that of another journal, it shall be judged as "submitted to another journal" and the manuscript shall be returned to the authors and not accepted for publication.
- (3) The authors are fully responsible for the confirmation of a work having been "not submitted to other journals." If it is confirmed by the JWS that the "confirmation of not submitted" is violated, the manuscript will be returned to the authors and not accepted for publication. If violation is confirmed after the publication of a paper, the paper will be invalidated.

[Exceptions]

- (a) If the abstract or an excerpt of the manuscript submitted to this journal has already been submitted to another journal as an abstract or a prompt report, it shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (b) Works that were previously published in a report or bulletin of the JWS Research Committee and submitted by the same authors shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (c) A work that has been submitted as a PhD thesis and publicly presented shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (d) Manuscripts submitted to technical committees of the International Institute of Welding (IIW) shall be accepted as "not submitted to other journals."

4.4 Composition of the manuscript

- (1) The general composition of the manuscript shall be as follows:
- (a) Cover page: A cover page for the uploaded manuscript is automatically created at the time of Web submission.
- (b) Abstract in English: Regardless of whether the manuscript is in Japanese or English, include an English abstract, up to 300 words in length.
- (c) Body text: The size of electronic and printed manuscripts shall exclusively be A4. Provide sufficient top/bottom and left/right margins, and line spacing for easy readability. It is acceptable to submit a manuscript that has been submitted to a symposium or committee meeting of the JWS in the submission format for that purpose.

- (d) Legends of figures (including photographs), and captions of tables: English captions should be provided at the end of the manuscript, regardless of whether the manuscript is written in Japanese or English.
 - (e) Tables: Tables should be clearly legible.
 - (f) Figures: Figures should be clearly legible, with sufficient resolution. The scale should be represented.
 - (g) Photographs: Photographs should be clearly understandable, with sufficient resolution. The scale should be represented.
 - (h) Files (Type: EPS, TIFF, JPEG, GIF, PNG, PICT, or BitMap) of figures, tables, and photographs (original) should be attached, if electronic materials are available. It is not preferable to use shaded images, tone shading, or color. It is preferable that the image has sufficient resolution (the recommended resolution is 600 dpi or higher in the printed size).
 - (I) Bibliographic information should be formatted according to J-STAGE specifications: Attach necessary information in a text file (see Section 8).
- (2) Characters used in figures, photographs, and tables should be English characters, regardless of the language of the manuscript.

4.5 Submission deadline

We will accept manuscripts at any time.

4.6 Author proofreading

- (1) The corresponding author may perform proofreading only once with his/her responsibility.
- (2) The proofreading is limited to correction of typographical errors. No addition nor deletion is accepted.

4.7 Quarterly Journal of the JWS (published on the WWW) publication fees

After acceptance of the manuscript, the authors should promptly pay the publication fee to the JWS as specified below. Authors using Express submission also should pay the Express submission fee as shown below, after the review process has been completed and acceptance for publication has been announced.

Table 4.1 Publication fees of the Quarterly Journal of the JWS.

Number of printed pages		Up to 5 pages	6	7	More than 8 pages
Page charge (Japanese/English)	Normal submission	¥55,000 (Without tax, ¥50,000)	¥66,000 (Without tax, ¥60,000)	¥82,500 (Without tax, ¥75,000)	Increase by ¥16,500 per page (Without tax, ¥15,000)
	Express submission	¥82,500 (Without tax, ¥75,000)	¥99,000 (Without tax, ¥90,000)	¥123,750 (Without tax, ¥112,500)	Increase by ¥24,750 per page (Without tax, ¥22,500)

Include 10% consumption tax. Reprint fees are not included (reprint fees are tabulated below).

4.8 Quarterly Journal of the JWS (published on the WWW) reprint fees

Reprint fees for publication (Japanese/English) are as follows (Reprints are always provided with a paper cover.):

Table 4.2 Reprint fees of the Quarterly Journal of the JWS

Copies	Up to 6 pages of text	Up to 8 pages of text	Up to 10 pages of text	Up to 12 pages of text	Up to 12 pages: Fee per 2 pages
50	¥8,250 (Without tax, ¥7,500)	¥9,350 (Without tax, ¥8,500)	¥10,450 (Without tax, ¥9,500)	¥11,550 (Without tax, ¥10,500)	Increase by ¥1,100 (Without tax, ¥1,000)
100	¥12,650 (Without tax, ¥11,500)	¥14,850 (Without tax, ¥13,500)	¥17,050 (Without tax, ¥15,500)	¥19,250 (Without tax, ¥17,500)	Increase by ¥2,200 (Without tax, ¥2,000)
150	¥17,600 (Without tax, ¥16,000)	¥20,900 (Without tax, ¥19,000)	¥24,200 (Without tax, ¥22,000)	¥27,500 (Without tax, ¥25,000)	Increase by ¥3,300 (Without tax, ¥3,000)
200	¥22,550 (Without tax, ¥20,500)	¥26,950 (Without tax, ¥24,500)	¥31,350 (Without tax, ¥28,500)	¥35,750 (Without tax, ¥32,500)	Increase by ¥4,400 (Without tax, ¥4,000)
250	¥26,950 (Without tax, ¥24,500)	¥32,450 (Without tax, ¥29,500)	¥37,950 (Without tax, ¥34,500)	¥43,450 (Without tax, ¥39,500)	Increase by ¥5,448 (Without tax, ¥4,953)
After 50 pages units	Increase by ¥4,400 (Without tax, ¥4,000)	Increase by ¥5,500 (Without tax, ¥5,000)	Increase by ¥6,600 (Without tax, ¥6,000)	Increase by ¥7,700 (Without tax, ¥7,000)	Increase by ¥8,380 (Without tax, ¥7,619)

(Shipping fee included)

Color charge: ¥110

(Include 10% consumption tax. The price without tax is ¥100) per page printed in color.

5. Welding Letters of the JWS (WL)

5.1 Introduction for the authors

- (1) WL is published on the WWW (uploaded non-regularly, one issue per year).
- (2) An article to be submitted to WL should be a thesis that makes worthwhile contribution to a basic/fundamental field or to a developmental/applied field. It is also desirable that the work is of sufficient novelty for urgent publication.
 - (a) The "basic/fundamental manuscripts" should pertain to basic/fundamental research. The content should be relevant to the research fields of the JWS, and should be of sufficient originality and completeness.
 - (b) The "developmental/applied manuscripts" should pertain to research on developmental and/or novel, emerging technologies. The contents should be relevant to the conventional as well as new research fields of the JWS, and should be of sufficient novelty.
- (3) It is desirable that the papers submitted to WL have been presented in advance at academic meetings sponsored by the JWS (National meetings, Research Committee meetings, National meeting symposia·forum keynote lectures, aymposia hosted by the

Research Committee, local group lectures, international symposia that do not publish proceedings).

- (4) We do not accept series of manuscripts having the same title. However, titles can have the same general subject and different sub-titles.

5.2 Languages used

The language used for WL should be English. Either British or American style is acceptable, but the styles should not be mixed.

5.3 Original papers

- (1) Submitted manuscripts are limited to those that have not been published in journals other than those of the JWS.
- (2) It is acceptable for a work submitted to the Journal to be submitted to other journals afterwards, but not before. The submission date is judged by the date of receipt. If the date of receipt is the same or later than that of another journal, it shall be judged as "submitted to another journal" and the manuscript shall be returned to the authors and not accepted for publication.
- (3) The authors are fully responsible for the confirmation of a work having been "not submitted to other journals." If it is confirmed by the JWS that the "confirmation of not submitted" is violated, the manuscript will be returned to the authors and not accepted for publication. If violation is confirmed after the publication of a paper, the paper will be invalidated.

[Exceptions]

- (a) If the abstract or an excerpt of the manuscript submitted to this journal has already been submitted to another journal as an abstract or a prompt report, it shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (b) Works that were previously published in a report or bulletin of the JWS Research Committee and submitted by the same authors shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (c) Manuscripts submitted to technical committees of the International Institute of Welding (IIW) shall be accepted as "not submitted to other journals."
- (d) After publication in WL, extension to the work can be submitted to the *Quarterly Journal of JWS*. In doing so, please clearly state that a part of the work was already published in WL.

5.4 Style Guidelines for WL submissions

- (1) Manuscripts shall be prepared as described below. Since WL will offset-print the submitted manuscript as it is submitted, be sure to follow these procedures closely when preparing the manuscript.
 - (a) Manuscript: Manuscripts can be prepared only with the use of a predetermined MS-Word template (downloadable from the JWS website).

WL Template: <https://jweld.jp/wp-content/uploads/2022/05/welding-letters-template.docx>

- (b) J-STAGE-compliant bibliographic information: Attach necessary information in a text file (see Section 8).

- (2) Abstract: An abstract not exceeding 200 words must accompany the manuscript.
- (3) Manuscript length: 2 to 4 pages.
- (4) English manuscripts should undergo a native check before submission. pre-checking by a native is the responsibility of individual authors, and additional checking by a professional translator is preferable.

5.5 Manuscript proofreading

The corresponding author may perform proofreading only once with his/her responsibility. The proofreading is limited to correction of typographical errors. No addition nor deletion is accepted.

5.6 Welding Letters (published on the WWW) publication fees

After the acceptance of the paper, the authors should promptly pay the publication fee to the JWS.

Table 5.1 Publication fees of the *Welding Letters*.

Number of printed pages	Up to 2 pages	3	4
Page charge	¥38,500 (Without tax, ¥35,000)	¥44,000 (Without tax, ¥40,000)	¥49,500 (Without tax, ¥45,000)

Include 10% consumption tax. Reprint fees are not included (reprint fees are tabulated in Section 4.8, “*Quarterly Journal of the JWS* (published on the WWW) reprint fees”).

6. Author’s Guide for English Manuscript Submissions for the *Journal of the JWS*

This guideline is applicable to the preparation of English manuscripts of technical papers and other articles to be submitted to the *Journal of the JWS*. The manuscript should be prepared using word processing software, and saved in the native format of the word processor used.

6.1 Manuscript format

(1) Paper size

The size of electronic and printed manuscripts shall exclusively be A4. All text should be written only on one side.

(2) Title, Authors, Institutional affiliations, Abstract, Keywords

le, name(s) of author(s), institutional affiliation(s), abstract, short title, and keywords should appear on the first page.

- (a) title should clearly indicate the content of the paper, and should appear on the third line of the Cover page. The first letter of each noun, adjective, adverb, verb, and pronoun of the title should be capitalized, and all other word forms should be in lower case.

- (b)** The names and institutional affiliation(s) of the author(s) should be written as follows: e.g., "by TANAKA Ichiro" and "Faculty of Engineering, Osaka University (Present Address: 137 Main Street, Osaka, Japan)" The corresponding institutional affiliation(s) and address(es) should be linked by superscripts placed to the right of the author's names, and to the left of the institutional affiliation(s) and address(es) should be written at the bottom line of the first page.
- (c)** The abstract should not exceed 300 words in length. Purpose, experimental procedure, and important results should be summarized simply and clearly. Don't refer tables, figures, and or equations in the abstract. The abstract should be a summary of the text, written in the third-person, and should not include first-person pronouns or subjective evaluation, such as "It is very interesting that"
- (d)** An additional 5-10 keywords should follow the abstract on the first page.
- (e)** heading that is a shortened version of the title not exceeding 50 words should be written at the top of the Cover page (automatically created at the time of Web submission).

(3) Body Text

(a) Format

The text should be typed in single-column format. Keep the layout of the text as 60 characters per line (spaces not counted) and 24 lines per page. The text should be left-justified and the main text starting on the second page.

- (b)** It is desirable that the text be organized with these section headings and in the following order: "Introduction," "Experimental Methodology," "Experimental Results," "Discussion," "Conclusion," "Acknowledgment," and "References." Other Sections (e.g., "Theory," "Appendix," etc.) can be included as needed.
- (c)** Sections, subsections, and sub-subsections should be numbered, respectively, as follows: "1, 2, 3, ...," "1.1, 1.2, 1.3, ...," and "1.1.1, 1.1.2, ..."
- (d)** The Introduction section should include "aims of this study," "relationship of this study with conventional studies," and "overview of this study." Contents of conclusion should not be emphasized.
- (e)** Sections from "Experimental Methodology" to "Discussion" should be logically clear, and can be written to understand clearly points that should be emphasized.
- (f)** Conclusion should be outline of the paper and described as clearly and briefly as possible.
- (g)** "Figures," "Photographs," "Tables," "Footnotes," and "References" should be prepared as described in Sections 6.3, 6.4, and 6.5.

6.2 Scripts and terms

(1) Designation of letters, symbols, and a style of type

To facilitate type-setting, authors should mark ambiguous letters and symbols such as the following examples in red font: (*a*, α , *d*), (*b*, σ , 6 (six)), (*C*, *c*), (*e*, *l* (ell)), (*1*, *l* (ell)), (*K*, *k*, κ (kappa)), (*0* (zero), *O*, *o*), (*P*, *p*, ρ (law)), (*q*, 9 (nine), *u*, *v*), (μ (mu), *v*), (*W*, *w*, ω (omega)), (*X*, *x*, χ (chi)), \times (multiplication sign)), (*Z*, *z*, 2 (two))

Superscript and subscript figures and letters should also be described in red font (e.g., $K_0 = 0.85 \times 10^{-5}t$).

(2) Type face specification

New Times Roman (or Times New Roman) font, 12-pt size, is preferred for the Cover page and Body text. The type faces to be used in the main text are as follows:

Bold (Gothic) Model. *Italic (Italic) Model,* ***Bold italic*** Model

Physical quantities in equations should be expressed using italic symbols unless stated otherwise.

(3) Equations

One equation should be within one line in the text, e.g., a / b , ab^{-1} , $x / (x + t / 2)$. If two lines are needed, the extra part of the equation should be written on a new line.

(4) Quantity symbols and unit symbols

SI units should be used as a general rule (JIS Z 8203). However, when necessary, other units may be used in addition to the SI units.

6.3 Figures, photographs, and tables

- (1) The number of figures, photographs, and tables used should be minimized, and the same data should not be presented in both a figure and a table.
- (2) Each figure (including photographs) or table should be presented on a separate sheet, and given a sequential number such as "Fig. 1, Fig. 2, ...," "Table 1, Table 2, ..." etc. Photographs should be considered as figures (as "Fig. 1, Fig. 2, ...," not as "Photo. 1, Photo. 2, ...").
- (3) All figure legends and table captions are to be described in list form after "References" on a new page.
- (4) Tables: Tables should be clearly legible.
- (5) The figures should be clearly legible.
- (6) The photographs should be clearly understandable, with sufficient resolution.
- (7) Letter size and line thickness of figures, photographs, and tables should be sufficient to be seen after reduction. They should be of the same size or twice or three times as large as those of the original figures, photographs, and tables. The standard printed area is 170 mm in horizontal width (page size) and 80 mm in column width. The letter size of figures, photographs, and tables in the final printed version should normally be 2.5 mm. We strongly suggest that the author(s) check the letter sizes in reduced figures, etc. The recommended resolution in the final printed size is 600 dpi or more.
- (8) The positions of inserted figures, photographs, and tables should be indicated in the right margin of the text. The reduction scales of the figures or photographs should also be specified in the margin.
- (9) The reduction scales should be indicated, for example, as $x 45/100$ (the denominator is necessarily 100). Indications such as " $x 2/3$ " or "5 cm" are not acceptable.
- (10) In the case of enlarging an original figure, photograph, or table, the area should be within the maximum size of 210 mm x 300 mm (A4-size).

6.4 Footnotes

If sentences or words in the text need to be explained in footnotes, superscripts such as *, ** or †, ‡ should be added to the upper right of the corresponding sentences or words. All explanations in the footnotes should be indicated in a list on a new page. Please refer to [https://en.wikipedia.org/wiki/Note_\(typography\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Note_(typography)).

6.5 References

References are to be numbered sequentially and with a right parenthesis, such as "1), 2), ..., " and described in a list after "Acknowledgment" on a new page. Reference numbers appearing in the main text must appear as superscripts.

Examples:

Reference to a journal publication: 1) Author(s), Title, Journal name, volume-number (year), and page numbers.

Reference to a book: 2) Author(s), Book name, Publisher name, date of issue, page numbers.

In the case of Japanese references, the note "(in Japanese)" should be placed at the end of the reference.

6.6 Estimation of the number of pages

(1) Text

For estimation purposes, one printed page corresponds to about 890 words. On a single A4-size page, 24 lines of text written with double-spacing include about 288 words.

(2) Illustrations (tables, figures, photographs, and equations)

(a) The number of lines should be counted similarly in both the tables and text.

(b) Figures and Photographs

About 10 cm in the height of figures and photographs in a final printed page corresponds to 21 lines of text.

(c) Equations

The number of lines required for presenting equations are as follows:

$$(c1) \quad id = 605nD^{\frac{1}{2}}cm^{\frac{2}{3}}t^{\frac{1}{6}} \quad \dots\dots\dots \text{One line}$$

$$(c2) \quad E = Ea^0 \frac{RT}{PF} \ln \frac{a_0}{a_0} \quad \dots\dots\dots \text{Two lines}$$

$$(c3) \quad Q_n(x) = (-1)^{\frac{1}{2}} \frac{Z_n \{r(\frac{n}{2}+1)\} \times g_n(x)}{r(n+1)} \quad \dots\dots\dots \text{Three lines}$$

$$(c4) \quad \cos\alpha = \frac{\frac{dx}{du}}{(\frac{dx}{du})^2 + (\frac{dy}{du})^2 + (\frac{dz}{du})^2} \quad \dots\dots\dots \text{Four lines}$$

7. Author's Guide for J-STAGE-Compliant Bibliographic Information

Bibliographic information prepared in accordance with J-STAGE should be attached to the manuscript, irrespective of whether in English or Japanese.

7.1 Contents of Bibliographic Information

Title, name(s) of author(s), institutional affiliation(s), abstract, keywords, and references should appear, in this order, as plain text.

7.2 Submission Format and Number of Copies

Bibliographic information should be submitted in a text file as electronic information (Refer to Section 2.7 (4) for the recommended medium and file naming). In addition to an electronic medium, it is desirable that a printed copy of the bibliographic information also be submitted.

8. Contribution rules for new technologies and products

Authors should be in accordance with the following rules when preparing articles regarding new technologies and products for submission to *Journal of the JWS*:

8.1 Author Qualifications

Supporting members of JWS can contribute articles.

8.2 Contents of Manuscripts

The article should describe technical principles and characteristics of recently developed technologies and products in technical field of joining and welding, and must include technical information enabling objective comprehension of the principles and characteristics.

8.3 Contents of Manuscripts

The article should include (1) a title on cover page and (2) a body text.

8.4 Manuscript Length

- (1) The printed article should be either one page or a half page in length.
- (2) The number of printed pages shall be decided by the editorial committee, not by the author(s).

8.5 Number of Copies for Submission

One copy of the manuscript (including figures, tables, and photographs) should be submitted. Submission of an electronic file of the manuscript saved on an electronic storage medium is recommended. The operating system of the computer (e.g.,

Windows or Macintosh) and the name of word processing software that the authors used should be identified. The manuscript data file should be named according to the rules prescribed in Section 2.7 (4).

8.6 Author's Guide for Manuscripts Regarding New Technologies and Products

- (1) Manuscript pages should be of A4 size.
- (2) The final printed version will comprise 2400 characters per page, with 9-pt font for the text except the title. However, the allowed numbers of characters are decreased according to corrections made to the title, figures, tables, and photographs.
- (3) The language for manuscripts is generally Japanese. The manuscript should be written in a colloquial style.
- (4) Authors should check that the allowed number of printed pages is not exceeded in the final manuscript (see Section 6.6 for a description of printed page number estimation).
- (5) The succinct title or catch phrase should be given to the article.
- (6) Magnification scales should be clarified for figures, photographs, and tables for the plate making. Color graphics in photographs and figures are prohibited.
- (7) The corresponding author's name, institutional affiliation, address, and phone number should be mentioned at the beginning of the article.

Note: Authors should refer to Section 6, and observe the other requirements not documented in this section.

8.7 Review

Submitted manuscripts are reviewed by the editorial committee, and the authors are requested to make revisions according to their comments and decisions.

8.8 Acceptance

Acceptance of a manuscript is decided by the editorial committee according to the results of the review.

8.9 Manuscript proofreading

The corresponding author may perform proofreading only once with his/her responsibility. The proofreading is limited to correction of typographical errors. No addition nor deletion is accepted.

8.10 Listing fees

After the official decision of article publication, the author should pay the prescribed listing fee immediately.

Table 8.1 Publication fees of the articles regarding new technologies and products for submission to Journal of the JWS. Listing fee (¥: Japanese Yen)

Number of printed pages	One page	Two pages
Page charge (Japanese/English)	¥38,500 (Without tax, ¥35,000)	¥77,000 (Without tax, ¥70,000)

The total price includes 10% consumption tax.

8.11 Others

- (1)** The author(s) bear(s) the responsibility for the contents of the published article.
- (2)** All rights of the article are reserved by the JWS
- (3)** Offprints are free of charge up to 100 copies. The author may order additional offprints at the time of manuscript submission, and should pay the actual costs.